



大滝たきのみやこども園 (有) 5-5377 (電) 49-0312



# ENJOY! 大滝たきのみやこども園です!

秋の風が、園庭の木々の葉をやさしく揺らしながら、通り過ぎていきます。風が冷たさを運んでくると、木々は葉の色を少しずつ変えていき、深まる秋の風景へと移り変わっていきます。

子どもたちも、そのようすを五感で感じて「あ、葉っぱの色が変わった!」「見て見て! こんなに赤くてきれい!」と、感動を伝えてくれます。紅葉した葉やいろいろな木の実など、秋の自然にいっぱい触れて遊んでいます。

## セミの羽化を見たよ!

ある夏の日の朝、体育館横の通路を歩いていた職員が、桜の木の葉で羽化の真っ最中のセミを発見! 茶色の殻を破って薄緑の体が出てきました!

登園してきた子どもたちも「セミが殻からでてきた!」という知らせを聞いて「見たい!」という気持ちがすぐに沸き上がりました。皆が見に出た時は、もう羽がピーンっと伸び、なぜか葉の裏側に回っていました。「羽化の時に地面に落ちたり、誰かがさわったりしてしまうと、死んでしまうんだよ」と教えてもらい、そーっと見守る子どもたちでした。



殻から出てきたセミ! 頭が下向きだけど、この後、どうなるのだろうと興味津々!



少しその場から離れているうちに、セミは、葉の裏側へと移動して頭を上にして羽を伸ばしていました!



## 夏のお山も楽しさいっぱい!

かぶとむし組の皆で「ダムを作ろう!」と、たくさんの石を集めてダムづくりが始まりました。

「だんだん水が溜まってきた!」とわくわくする子どもたち! 「次に来た時にお魚来てるかな?」「カニかな?」「やごかな?」「いっぱい来るといいな!」

子どもたちの夢が詰まったダムが完成しました。



そして、かぶとむし組が作ったダムには、たくさんの生き物が集まっていました!

この日はとんぼ組が川遊びへ。なんと、おなかに赤ちゃんをいっぱい抱えたお母さんガニを発見! ダムがいいおうちになったようで、素敵な出会いに大喜び! かぶとむし組さんに感謝のとんぼ組の子どもたちでした。



今回は、学年をまたいだ遊びの継続が見られました。

その時・その場の発見や体験だけでなく、遊びが続いていたからこそ出会った奇跡を感じられる経験となり、自然の中での連続した遊びが大きな感動体験につながりました。